

謹賀新年

町民に笑顔と活力があふれ

川根本町のことを誇りに思う

「心がふれあう感動のまちづくり」

今年も進めてまいります

町民の皆様におかれましては、希望と輝きに満ちた新年を迎え、健やかに過ごしのことと心からお慶び申し上げます。平素は町政全般にわたり温かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

町長就任以来、「心がふれあう感動のまちづくり」を町政運営の柱に掲げ、さまざまな施策の実現に取り組んでいます。町民の皆さまの積極的なまちづくりへの参画に感謝申し上げます。

昨年3月には国道362号青部バイパスが全線開通し長年の課題となっていた藤川から崎平への狭隘^{きょうあい}区間が解消されたほか、南北間をつなぐ町営バスのルート延伸が行われました。

今後も町民の皆様の生活における安心安全の礎となる道路につきましては、町道高郷上長尾線の高郷バイパス全線開通をはじめ、長

年の懸案となっている国道362号富士城バイパスの早期完成、観光の柱となっている寸又峡温泉へ続く川根寸又峡線の整備促進、久保尾地区へとつづく国道362号や久野脇地区の国道473号の改良など、皆様の期待に応えられるよう県をはじめ関係機関に強く要望してまいります。

そのほか、昨年5月に着工した伝統文化伝承館につきましても本年度中に完成予定となっております。町の歴史や伝統を絶えさせることなく伝えていく拠点に加え、文化の伝承のためご尽力いただいている町民の方々の一助になればと考えております。

また、県立川根高校についても、地元の高校としてより魅力を高めるため、関係機関と連携しながら様々な取組を展開することにより、町内のみならず町外からの子どもたちからも選んでいただける

高校として、県・川根高校と協力し、より一層の魅力化を推進していければと考えております。

最後に、J.R東海が進めるリニア中央新幹線建設に伴う大井川の水量に関する諸問題につきましては、静岡県を中心に流域の市町と協力しながらオール静岡の態勢で対応してまいります。

新しい元号を迎える年として、気持ちを新たにするとともに、干支である亥にあやかり、強く前へ安心安全のまちづくりを進めてまいりますので、町民の皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

川根本町長

鈴木敏夫